

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第40週 (9月28日～10月4日)



インフルエンザについて

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は32人と先週から増加しました。すべてインフルエンザA型です。大分県全体でも定点あたり7.63人と、先週の5.03人と比較して増加しました。



RSウイルス感染症にご注意ください

今週の報告数は7名と一気に増加しました。

RSウイルス感染症は、発熱、鼻水、咳などの症状がみられる呼吸器感染症です。特に生後6か月以下の乳児や高齢者では、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。咳やくしゃみなどによる飛沫感染や、ウイルスの付着した手指や物を介した接触感染で広がります。予防のためには、こまめな手洗い、手すり・おもちゃなど日常的に触れる物をアルコールで消毒する、鼻汁や咳などの症状がある場合のマスク着用などがあります。

ダニ媒介感染症について

マダニの活動が盛んな春から秋は、野山や畑、草むらなどでマダニに咬まれる危険性が高まります。病原体を保有するマダニに咬まれると、「重症熱性血小板減症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」などを発症することがあり、年々増加傾向にあります。

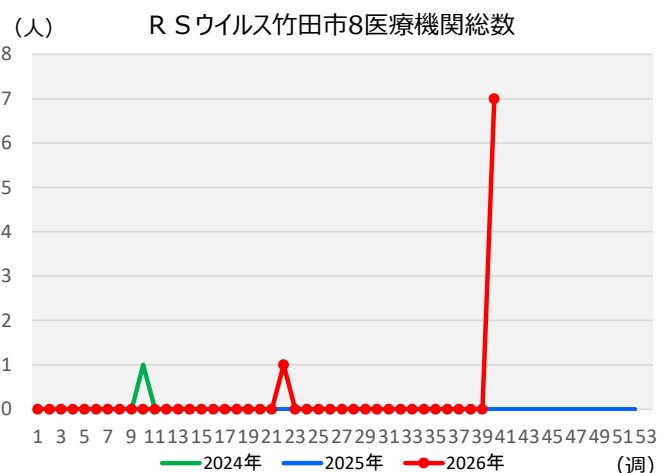
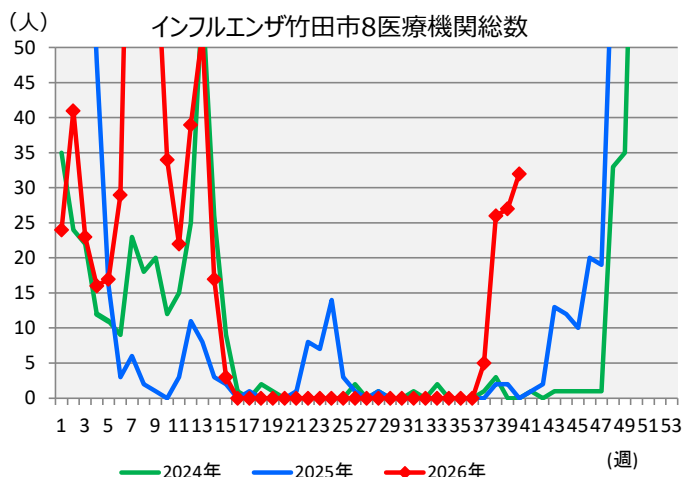
マダニに咬まれないために、野外では、長袖、長ズボンや足を覆う靴を着用し、肌の露出を減らしましょう。虫よけ剤の適切な使用も有効な対策です。野外活動の後、数日から2週間程度の間に発熱や発しんなどの症状が出た場合は、早めに医療機関へ受診し、野山や草むらに立ち入ったことを伝えましょう。

また、感染したペットからヒトに感染することがありますので、ペットのダニ対策や健康管理も重要です。

(第40週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳	1				2														
1～3歳	1				5														
4～6歳	7			2															
7～9歳	3																		
10～14歳	5																		
15～19歳	4																		
20歳以上	11			2															
今週	32			4	7														
	32																		
70歳以上(再掲)																			
先週	27			2				1						1					



日本全国、みんなで予防 インフルエンザ!

インフルエンザの予防には

みんなの「かからない」、

「うつさない」という気持ちがとても大切です。

手洗いでインフルエンザを予防して、

かかったら、マスク等せきエチケットも

忘れないでください。



インフルエンザ
予防キャラクター
マメソウくん



マメに
手洗い



インフルエンザ
予防キャラクター
アズキちゃん

●インフルエンザに関する情報

インフルエンザ

検索

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/infuenza/index.html>

感染症対策

RSウイルス感染症

に注意しましょう

こんな症状がみられます



鼻水

せき

発熱

かぜのような症状が数日続き
多くは軽症で回復しますが、重症化した場合は
細気管支炎、肺炎などを起こします

生後6ヵ月以内の新生児・乳児への感染や、低出生体重児、心臓・肺・神経・筋肉などに基礎疾患がある場合や免疫不全がある場合などには重症化の可能性が高まります。

こんな時は

機嫌がよく、つらそうでなければ、
あわてずに様子を見て、かかりつけ医に
ご相談ください。呼吸が苦しそう、食事
や水分摂取ができない時は医療機関
への受診をご検討ください。

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、
「こどもの救急」などのWebサイトを参照
したり、き800のひこども医療相談センター
にご相談ください。

こどもの救急



流行時期

初夏ごろから
継続的に増加となり
夏にピークになると
みられています

感染経路

飛まつ

接触

2歳までにほぼ全員が
少なくとも一度は感染します

予防



水と石けんでの
手洗い



手やおもちゃなどの
アルコール消毒



症状がある時は
可能な範囲で
マスク着用

こどもを感染症から守るために、家族や周囲の
おとなも しっかりと予防しましょう

2026年度から、妊婦の方へのRSウイルスワクチンの予防接種が、
予防接種法に基づく定期接種の対象になりました。RSウイルスワク
チンを妊婦中に接種することで、乳幼児の肺炎・細気管支炎の主要
な原因である、RSウイルスの感染を防ぐことができます。

詳細については、医師にご相談ください。また、高齢者が感染すると
重症化することがありますので注意してください。

